

「福島県浪江ひまわり荘仮施設建築設計業務委託」

プロポーザル質問・回答書

福島県建築設計協同組合

H30.12.28

質 問 事 項	回 答
1.作業室で行う作業の内容を教えてください。	1. 作業室での作業等は、余暇支援の一環であるレクリエーションを含め、刺し子、塗り絵、ゲーム、体操、風船バレー等の軽作業、軽運動等を想定している。
2.特別浴室の利用形態を教えてください。	2. 特別浴室は「機械浴（仰臥位・側臥位での入浴可）」と「中間浴（座位で入浴可）」を想定し、主に身体障がい等のため一般浴を利用できない方が対象である。
3.浄化槽は必要となる区域ですか。	3. 建設予定地南側の村道に配管される西郷村公共下水道に接続可能と確認されているので、浄化槽は不要となる。
4.駐車台数（スタッフ用、来館者用、他）を教えてください。	4. （現スタッフ数は31名）駐車台数はスタッフ等27台+来客3台、合計30台程度を想定している。
5.車庫は必要ですか。	5. 必要である。公用車（普通車）2台分が理想である。
6.入所者の中で介護が必要な方の要介護の度合いはどの程度か。また、身体障害者の方の度合いはどの程度か。	6. 浪江ひまわり荘は救護施設のため介護保険適用除外施設であり、入所者全員が要介護度認定を受けられない。しかし、推定で要介護度5、6程度の方が23名程度いる。重複するが身体障

<p>7.入所者の年齢層や主な入所理由をご教示下さい。</p>	<p>がいは31名である。</p> <p>7. 入所者の最低年齢36歳、最高年齢100歳で、平均年齢72歳である。また、入所理由は全員が障がい等による生活困窮者（法律上の要生活扶助者）である。</p>
<p>8.駐車スペースは、どの程度の台数が必要か。また、隣接地建設予定の同種別救護施設の駐車台数も同程度と考えてよいか。</p> <p>入所者が車を使うことはないと考えてよいか。</p>	<p>8. 4に同じ。なお、隣接地に建設予定の救護施設は浪江ひまわり荘より数多い職員配置が予定されるが、駐車台数は同程度を想定している。また入所者自身が運転することはない、主に公用車による送迎である。</p>
<p>9.入所者が日常的に建物の外に出ることはあるか。出ることがあるとすれば敷地内の庭などまでか。または、敷地外に出ることはあるか。</p>	<p>9. 通常、屋外での主な活動は敷地内の園庭内となるが、日課の一環として散歩、買い物等に出掛ける。ただし、情緒不安定等により無断で外出することが稀にあり、日常的に注意を要する方もいる。</p>
<p>10.利用者が使う車椅子の種類はなにか。（手動、電動）</p>	<p>10. 車いす利用は33名で、全て手動である。</p>
<p>11.この施設は利用者の社会復帰を目的とした施設か。</p>	<p>11. 救護施設は保護的役割が求められるが、最近では地域での訓練等を経て、社会復帰を目指す取り組みを実施している。しかし、諸事情により入所が長期化する傾向である（平均在籍は27年程度）。</p>
<p>12.敷地入り口は北側限定でしょうか。</p>	<p>12. 南側には往来の多い村道が通り、入所者の安全確保が課題となるが、北側限定とは考えていない。工夫ある提案を期待する。</p>

<p>13.浪江ひまわり荘の入所者は相双地区限定でしょうか。</p>	<p>13. 福島県内には6ヶ所の救護施設が設置され、浪江ひまわり荘を含め、いずれも県内全域から入所している。</p>
<p>14.入所者の介護状況や介護認定度合いなどを教えてください。</p>	<p>14. 6に同じ。</p>
<p>15.障害のある人と障がいの無い人は同一ユニットで生活しておりますでしょうか。</p>	<p>15. 浪江ひまわり荘の居室等が設置される生活棟は男女別に各2棟ずつで、それぞれに様々な年齢、様々な障がいを有する方が入所している。</p>
<p>16.現在のひまわり荘や他の救護施設を見学することは可能でしょうか。</p>	<p>16. 可能である。ただし、見学会は平成31年1月11日（金）13時30分からとし別紙により事前申込みのこと。</p>
<p>17.利用者 80名の想定比率を教えてください。例えば</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①身体障害者のある人</li> <li>②知的障害者のある人</li> <li>③精神障害者のある人</li> <li>④アルコール依存症の人</li> <li>⑤生活障害の人</li> </ul>	<p>17. 救護施設の特性から、入所は県と市が決定するため、障がい比率を想定することは難しい（入所定員は男女各40名、合計80名）。なお、現入所者の男女内訳は男性35名、女性39名。また、知的障がいのみ11名、身体障がい+知的障がい25名、身体障がい+精神障がい6名、知的障がい+精神障がい13名、知的障がい+精神障がい+精神障がい5名。障がいなし4名である。</p>
<p>18.現状の男女比率を教えてください。</p>	<p>18. 新たに建設する建物は入所定員80名で男性40名女性40名の内訳。なお現入所者の男女内訳は17に同じ。</p>
<p>19.設備比較表にて生活棟4棟とありますがユニットを想定した棟数でしょうか。想定ユニット数と1ユニットあたりの</p>	<p>19. 男女で各2棟、全体で4棟の80名となる。なお、支援スタッフは看護職員2.8名（パートの時間限定職員含む）</p>

<p>配置職員数を教えてください。</p>	<p>の外、生活棟（総数20名の支援スタッフ）は4棟それぞれに2名以上のスタッフを配置し、同性介護を基本としている（休日は1名以上となる）。設備比較表はあくまでも参考で有り工夫ある提案を期待する。</p>
<p>20. 日常の昼間職員数と夜間職員数を教えてください。また、1ユニットあたりの配置職員数を教えてください。</p>	<p>20. 19に同じ。なお、平日の昼間は看護職員の外、介護や支援に従事するスタッフは全体で8名以上、夜間は3名となる。</p>
<p>21. 隣接地に同種施設を予定されておりますが、運営上2つの施設は同一棟と考えますか（職員の共通化や室内移動動線の確保など）。</p>	<p>21. 同一棟や別棟扱いとは考えていない。種別が同じ救護施設ではあるが全く別の施設建物となる予定である。</p>
<p>22. 特別浴室は特別居室との連携又は一般浴室との連携どちらを考慮するべきでしょうか。</p>	<p>22. 特別居室とは感染症の蔓延防止等、一時的に他の入所者から隔離する居室であり、浴室利用は症状・障がいの程度による。また特別浴室、一般浴室の別は2を参照のこと。</p>
<p>23. 特別浴室は機械浴室を想定した浴室でしょうか。また、脱衣所を含めた面積で宜しいでしょうか。</p>	<p>23. 2に同じ。なお、設備比較表の面積表記は脱衣室とは別で浴室のみである。</p>
<p>24. 特別居室は3人部屋を想定した面積で宜しいでしょうか。男女別に設置する必要がありますか。</p>	<p>24. 男女別の設置は想定しない。面積上3名が利用可とし、プライバシーに配慮する可動式間仕切りがあれば理想と考える。</p>
<p>25. 提案書に表現するプラン図の表現において、許容される表現例があればご提示下さい。確認ですが その他の図（特に透視図）においても</p>	<p>25. 今年度総会時のプロポーザル実施要領研修会（H30.5.23）で説明済みである。透視図については改正したプロポーザル実施要領及び新旧対照表を参</p>

<p>ある程度の表現は許されると判断してよろしいでしょうか)</p>	<p>照のこと。</p>
<p>26.各諸室においては、別添資料である「浪江ひまわり荘設備比較表」の所要室。面積に沿った計画でよろしいでしょうか。</p>	<p>26. 設備比較表はあくまで参考である（浪江町の建物設備との比較）。国の設備基準等に基づく工夫ある提案を期待する。</p>
<p>27.敷地内のアプローチですが、職員、来客、その他搬出入全て北側敷地内道路からすべきでしょうか。</p>	<p>27. 12に同じ。</p>
<p>28.駐車台数は何台程度必要でしょうか</p>	<p>28. 4に同じ。</p>
<p>29.入所者の日課、スケジュールはどのようなになっていますか。</p>	<p>29. 主な週間日課は、月曜・水曜・金曜が入浴、火曜・木曜は班別活動（園芸・レク・運動等）。土曜は余暇活動等、日曜はクラブ活動（カラオケ・写真・CD鑑賞）等である。</p>
<p>30.今回新設する敷地のすぐ横に同種の施設を建てる計画があると基本計画にあります。駐車場の共有以外にひまわり荘が元の浪江町に戻った後の施設自体を新設予定の施設と共有して使用する考えはありますか。</p>	<p>30. 建設事業基本計画では浪江町への帰還を予定してはいるが、将来のことは明確に回答できない。ただし、隣接地に新たに同種別の救護施設を建設した以降は、入所者の日常的交流、行事等の諸活動を一緒に実施することなどは想定できる。</p>
<p>31.入所者の家族面会はありますか。ある場合はどのような時に行っていますか。</p>	<p>31. 救護施設の特性上、家族関係は疎遠なことが多い。また夏冬期帰省時等を面会日に設定するが、面会実績は少ない（全体で年間15件程度）。ただし、家族や入所者から要請があれば随時連絡調整等、対応する。</p>

<p>32.地域の人がボランティアで訪問する頻度はどの程度でしょうか。また、ボランティア以外の訪問目的はどのようなものがありますか。</p>	<p>32. 毎月2回(定期)及び年3回の行事(桜祭り、夏祭り、ひまわり祭)の際にお手伝いや話し相手を依頼している。</p>
<p>33.入居者に対して直接的に常時及び夜間対応する職員は何名くらいになりますか。</p>	<p>33. 19、20に同じ。</p>
<p>34.施設の中で季節ごとの行事、イベントはどのようなものがありますか。</p>	<p>34. 建物の内外で実施する主な季節ごとの行事は、桜祭り、雛祭り、夏祭り、ひまわり祭、忘年会、新年会である。</p>
<p>35.現在入所している方の状況(高齢者、障がい者等)による部屋割りはどのようなになっておりますか。また、新しい施設ではどのようになりますか。</p>	<p>35. 15に同じ。入所定員80名を踏まえ、設備比較表等を参考に、工夫ある提案を期待する。</p>
<p>36.現地説明の際に頂いた公図に表示されている長方形のラインは何を表しますか。</p>	<p>36. 長方形のラインは、建設予定地を見込みで記入した。</p>
<p>37.提案書に文章を補完するための最小の写真、イラスト、イメージ図を使用できるとありますが、今回、外観イメージの表現方法として何か規準等ございましたら、ご提示願います。</p>	<p>37. 25に同じ。組合プロポーザル実施要領以外の基準は設けていない。</p>